

岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム 2027年からの教育体制について

2026年3月31日

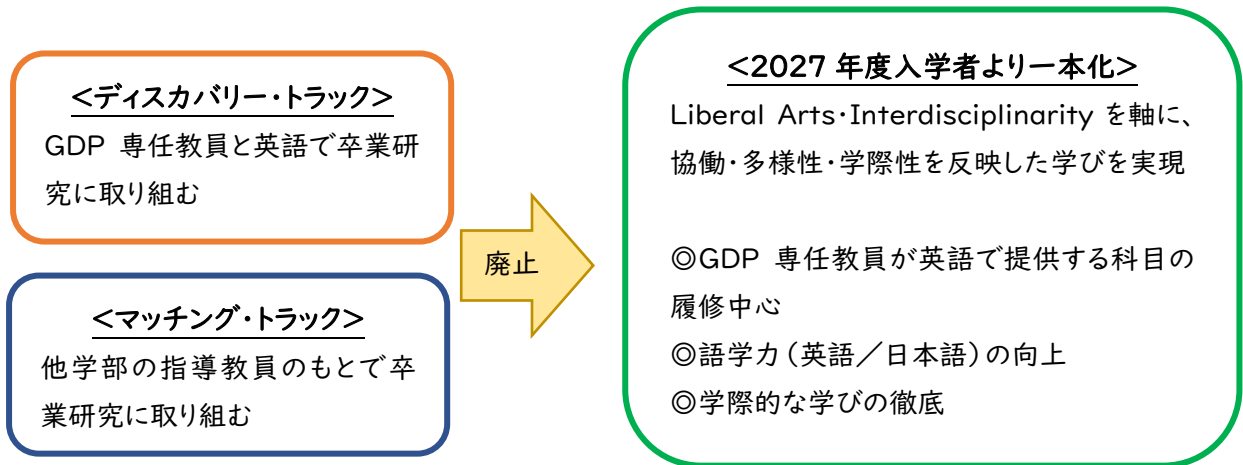
岡山大学グローバル・ディスカバリー・プログラム

2017年10月に開始したグローバル・ディスカバリー・プログラム(GDP)は、世界中から集まる留学生、帰国生などと日本国内で学んできた学生が集い、英語を共通言語として共に学ぶ国際共修学士プログラムです。これまで多くの卒業生を輩出し、多文化共生社会のリーダー育成に寄与してまいりました。このたび、プログラムの質向上とリベラルアーツの更なる深化を図ることを目的として、主にGDPの教員が英語により提供する科目を履修して専門的知識・技能を身につける教育体制への変更を予定しております。つきましては、2027(令和9)年度入学者より、以下のとおり実施いたします。

【主な変更内容】

● トラック制の廃止

これまで、GDP専任教員による卒業研究指導を受ける「ディスカバリー専修トラック」と、他学部で卒業研究指導を受ける「学部・学科横断型マッチング・トラック」で学生を受け入れてきました。このトラック制を廃止・一本化し、GDPの教員が英語で提供する科目を中心に履修し、原則としてGDPの教員の下で卒業研究(Senior Project)を行います。



GDPでは、学生一人ひとりの学問的関心や将来の進路に合わせ、文理横断を含む学際的で主体的な学びを重視しています。岡山大学の様々な学部が日本語で提供する講義も組み合わせながら、学生自らがカリキュラムを構築することが可能です。

なお、日本語やその他の必要条件を満たし、認められた学生は、例外的に他学部教員の指導のもと、卒業研究を行うことも可能です。

【その他】

トラック制廃止に伴い、入試制度の変更も予定しております。詳細は、2025年6月5日付で公開しております通知をご参照ください。下記リンクよりご確認いただけます。

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/st/nyushika/pdf/2027yokoku-GDP.pdf>

<本件お問い合わせ先>

岡山大学学務部グローバル・ディスカバリー・プログラム事務室

E-mail : admission_discovery@adm.okayama-u.ac.jp